



# 沿線紹介

～ 温 故 知 新 ～



シンジェンタジャパン 株式会社 立花 健 司

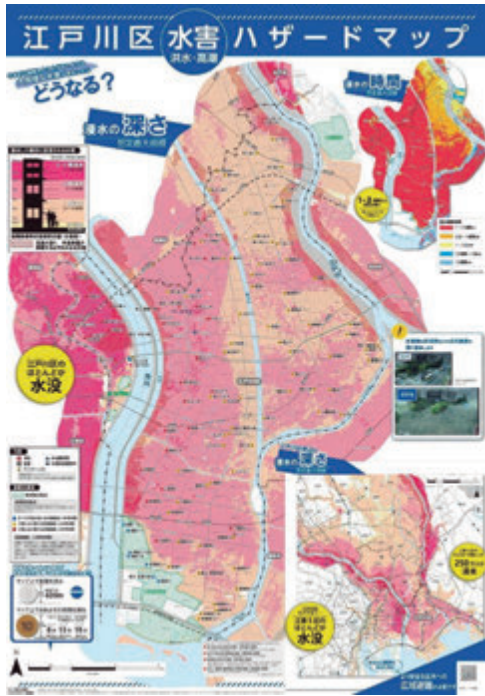
私の住む、東京都江戸川区は、東京都の23区の一つで、東京都心から東に位置しています。江戸川区は、江戸川の河口部分に位置しており、東京湾に面しています。江戸川区の歴史は古く、古代から中世にかけては、現在の江戸川区周辺は、武蔵国と下総国の境界に位置していました。江戸時代に入ると、現在の江戸川区は、江戸幕府の支配下に入り、江戸川の河口部分には、海防のための海防堡壘が築かれました。また、江戸川区周辺は、江戸時代には、農業地帯として栄え、米や野菜が栽培されていましたが、特に小松菜が有名です。明治時代に入ると、江戸川区周辺は、東京市の一部となり、都市化が進みました。昭和時代に入ると、江戸川区は、東京都の一部となり、現在に至っています。

現在の江戸川区は、住宅地や商業地として発展しており、東京ディズニーリゾートが近いことでも知られています。また江戸川区は、江戸川や荒川などの河川が流れており、東京にあって、自然が豊かなエリアとしても知られています。

江戸川区は、荒川と江戸川に挟まれた地域であり、治水に関する問題が重要な課題となっています。過去には、荒川や江戸川の氾濫による洪水被害が発生しています。江戸時代には、荒川や江戸川の治水に取り組むために、多くの治水施設が建設されました。しかし、現代でも荒川や江戸川の治水は重要な課題であり、堤防の整備や河川改修などが行われています。また、江戸川区は、東京都内でも比較的低い地域に位置しており、地盤沈下や海面上昇などの影響も受けています。これらの問題に対しても、地盤改良や防潮堤の整備などが行われています。近年では、地球温暖化による異常気象の影響も懸念されており、荒川や江戸川の治水対策はますます重要になっています。



東京都の一番、東端、お隣は千葉県市川市です。



江戸川区のハザードマップ(江戸川区HPより)ご覧のように海拔が低く、水害の危険性が高い為、スーパー堤防など治水対策が重要な地域です。

さて、私が住む江戸川区の小岩ですが、小岩という地名は、大和時代721年の古文書「下総国葛飾郡大島郷戸籍」に「甲和里こわり」という集落があったという記録があり、一説によるとこの「甲和」の部分が「小岩」に変化したといわれています。また、1952年(昭和27年)、「上小岩遺跡」から古墳時代の土器が発掘され、古くからこの地に人が住んでいたことが確認されています。小岩という地名と表現をしましたが、厳密には「小岩」という単独の地名は現存しません。おそらく「JR小岩駅」「京成小岩駅」という駅名の印象で「小岩」とひとくくりに考える方が多いのかと思われますが、現在江戸川区で小岩に関連する地名は「北小岩」「西小岩」「東小岩」「南小岩」があり、いずれも東西南北の方位が「小岩」の頭に付いています。「既に」という言い方をしたのは、かつては「小岩」という単独の地名が存在したからです。江戸時代においては、現在の小岩各町のあたりには「上小岩村」「中小岩村」「下小岩村」「小岩田村(小岩新田)」と呼ばれる村がありました。明治22(1889)年、これに加えて「伊予田村」が統合し、「小岩村」が誕生します。そして昭和3(1928)年には「小岩村」が町制施行にともない「小岩町」へと改称。さらに、この「小岩町」の大部分は昭和41(1966)年の住居表示実施により、現在の「北小岩」「西小岩」「東小岩」「南小岩」の4つの小岩へと変わります。ちなみに、新しい地名には複数の案があったようで、一つ目は現在の東西南北案(4ブロック)、2つ目は東西南と上中下案(6ブロック)、3つ目は、東西南・上中・小岩本町案(6ブロック)、4つ目は小岩町を4ブロックに分け、それぞれに「小岩」ではないまったく別の地名をつけるという案です。話し合いの結果、総武線の軌道と、柴又街道で4つのブロックに分け、東西南北の小岩とする案に落ち着いたようですが、もし別案が採用されていたら、北やら東やら、上やら下やら、なんだかややこしそうな小岩の地名になっていたのかもしれないね。



小岩駅周辺から放射線状に広がる三つの商店街



小岩は江戸時代には小岩宿として栄え、小岩宿からは江戸への街道が通っていました。現代の小岩は、商業地として発展しており、小岩駅周辺には商店街や飲食店が多くあり、地元の人たちに愛される場所となっています。また、小岩駅前には小岩駅前郵便局や小岩駅前交番などの公共施設があって、地域の中心地としての役割も担っています。小岩駅は、東京都内でも比較的地元色が強く残っているエリアの一つであり、地元の人たちが暮らす生活感あふれる街並みが特徴です。JR小岩駅の南口から放射状に小岩フラワーロード、昭和通り、小岩サンロードの三つの商店街が広がり、多くの人々で賑わっています。近年では小岩駅前の再開発により、タワーマンションの開発が相次ぐなど、下町の雰囲気も少しずつ変化しています。

都内にあって比較的、昔の雰囲気を残す小岩の街ですが、再開発によりタワーマンションが建設され、今後も新たな施設の建設が目白押しです。





江戸川区の人口はおよそ68万人ですが、そのうち外国人は3万8千人と外国人住民が多く住んでいます。小岩の街には外国人が営むお店が多くあり、多国籍な雰囲気と下町の雰囲気が混ざり合った独特の雰囲気がある街です。

私のお勧めは駅から徒歩6分ほどの場所にあるレストラン、「ビリヤニハウス」スパイスと共に炊き込まれたビリヤニが絶品です。